



釧公大だより

# A Aurora



『釧路の朝』撮影者：関山 紗菜（経済学科1年）

**東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。**

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

## CONTENTS

- 学長メッセージ……………2
- 新任教員紹介…………… 3・4
- 釧路公立大学開学30周年記念事業 ……4
- 卒業予定者の内定状況・  
    キャリアセンターだより……………5
- 活躍する公立大生……………6
- 公開講座のご案内・活躍する教員……………7
- インフォメーション……………8



### いい夏でした。快適な秋、冬になりますように。

釧路公立大学学長 高野敏行

今年の夏はとても快適でした。先日、たまたまお話しした大阪からのご夫婦が、「(釧路が)こんなにいいところなら、来年は3か月滞在したい」と話されていましたが、それがよくわかる気がします。

その過ごしやすさにうながされて、私は週末自宅の庭仕事に精を出しました。その時に気づいたことから始めます。今年は不思議なほど蚊がいないのです。これが今年だけのことなのか、(実際に大学の向かいの文苑地区で行われたように)湿地が宅地化されたおかげなのかは不明ですが、雑草を抜く作業をする際に虫よけスプレー、蚊取り線香などの防衛策が必要ありませんでした。バラにつくマメコガネが多かったのも印象的でした。日本産のこの昆虫が北米やヨーロッパのブドウ畑を荒らしているとのニュースを読んだので、いつも以上に気になったのかかもしれません。バラの花にもぐりこんでいるのを駆除していました。週末だけの庭仕事という小さな活動のなかでも、自然界の微妙なバランスの変化をいろいろ体験できるものです。

虫がらみのことで秋になるといつも思い出す事があります。大学があり、私も暮らしている芦野地区は開学したての30年前には新たに造成されたばかりの土地でした。造成用に運び込まれた土の表面部分には植物の種子や昆虫の卵もあまり含まれていなかったためか、何年もの間雑草も少なく、夜になっても虫の声がしなかったのです。秋に虫の声が聞こえないのは妙に物足りない感覚でした。

今触れてしまいましたが、今年は本学の開学30年周年にあたります。それを記念する記念誌、記念式典などの事業をおもにこの秋に企画していま

す。その一部として座談会を開きました。管理者、卒業生2名と私がメンバーです。席に着いて楽しく話しながら気持ちを開学当時に集中すると、記憶が芋づる式に湧いてきます。記憶の芋づるのきっかけになるのは開学当時の先生たち・学生たちです。(学生たちのことは以前にも書きましたので今回は割愛です。)今回の座談会中によく思い出したのは、年嵩の先生たちのことでした。特に私の父親と同年代の方には親しみというか関心があったので、みなさんの人生経験、研究、趣味について廊下でよく話を聞かせてもらいました。話は、「君のそのテーマは細かすぎるのではないか」といった勉強上のご指摘から、「いつかはあれくらいのレベルの車に乗れるようになりなさい」という類の人生訓めいたものにまで及びました。自分の研究室に戻って、これはまるで学生時代のゼミと同じ気分だったなと嬉しい気持ちになったものです。今思うと学生気分が抜けきっていない教師だったのですね。すでに鬼籍に入られた先生もいらっしゃいますが、私の記憶の中では実にお元気で、笑顔で話をされています。

今年は本学が7年に一度の認証評価を受ける年度でもあります。来年度の初めごろに結果が出ます。その内容はホームページで公開することとしています。その際には是非、ご覧ください。

この原稿を書いている9月初め、学内では公務員対策講座が開かれています。集中講義も始まりました。大学祭の大道具作りもアトリウムで始まるでしょう。野球部の元気な声は少し以前からグラウンドに響いています。今年は気持ちのいい秋空に恵まれそうな予感がします。実現しますように。

# 新 任 教 員 紹 介



釧路公立大学講師 東 裕 三

(担当科目：財政学、地方財政論ほか)

今年度より本学に講師として着任いたしました東裕三と申します。私は大阪府出身でして、これまで関西を拠点に生活を送って参りました。着任した直後は新天地での生活に少し不安もありましたが、周りの諸先生方や職員の方々に温かく接していただき、お陰様で今では釧路での生活を楽しみながら送らせていただいております。自然が豊かで過ごしやすく、教育・研究環境も充実した本学で働かせていただけることに大変感謝いたしております。

私は、本学で主に地方財政論や財政学の授業を担当しております。大学2年生のときに財政学の講義を受講し、公共財の話が興味深い内容であったことが財政学を専攻するきっかけとなりました。大学では財政学のゼミに所属し、「国債残高累増が日本経済に与える影響」というテーマでゼミ論文を執筆しました。その後、地方自治体の公債発行を抑制するために国が国債を発行せざるを得ないという側面があることに気付き、地方自治体の問題を解決することが、国の経済問題を解決する上でも重要だと考えるようになりました。また、私の出身地は少子高齢化に加え都市への人口流出が進んだ地域であり、このような故郷の過疎化を目の当たりにすることは私自身、大変つらいものがありました。このような過疎化が進む地域に対して、財政学を用いて何か役に立てることができないかと考え研究者を目指すことを決意しました。



釧路公立大学講師 千 田 航

(担当科目：行政学、政治学ほか)

今年度より本学に着任しました千田航と申します。生まれも育ちも札幌ですが、広い北海道のなかで札幌とはやや異なる釧路の気候や風土を新鮮に感じながら日々生活をしています。

本学では政治学関連の「行政学」と「政治学」、「地方自治論」の講義を担当しています。私たちは市役所に行ったり投票をしたり、現実に政治や行政と身近に触れ合っています。政治学や行政学は政治や行政がいかなる条件で成立し、いかに機能しているのかを理解する学問だといえます。講義のなかでは、なぜ役所の職員は市民をたらい回しにするのかとか、なぜ政治家や官僚は重要なきに限り記憶がなくなるのかなど身近な問題を取り入れつつ、経済学部のなかで政治や行政のあり方を考えることができるように努めています。

研究の話をする、私の専門分野は政治学のなかでも比較福祉国家研究、福祉政治学などと呼ばれるものになります。これらは雇用や社会保障を通じて人びとの生活を支えようとする政治的な合意について各国を比較、分析する学問領域だと考えています。私はそのなかでもフランスの家族政策を対象として、手厚い家族手当の支給や多様な保育サービスの提供がなぜ実現できたのかを研究しています。日本でも子ども

大学院では、主に「地方公共財供給の最適性」をテーマに地方公共財が地域住民にとって望ましい量だけ供給されているのか否かについて研究を進めました。しかし、これまでの地方財政論では、地方公共財供給の最適性に焦点が当てられており、地域の雇用や所得を増加させるために、どのように地方公共財や補助金を提供すべきかという問題についてはあまり議論されてきませんでした。例えば、地方自治体は、地域の雇用や所得を増加させることを狙い、地域へ企業を流入させるために、誘致補助金を用いることがありますが、そもそもその地域に雇用をより生み出しているのは、存続企業であるのか新規企業であるのかは明確にされていません。したがって、地域の雇用を生み出す大きな源泉が存続企業であった場合、税金で賄った誘致補助金はあまり効果を発揮しないこととなります。今後は、地域の雇用や人口が増加するメカニズムを明らかにし、地域活性化のために地方財政を通じたどのような政策が必要なのかを研究して参りたいと考えております。

これまで自身で学んできたことや研究で得られた成果を分かりやすく学生に教えられるように、そして地域の皆様にも分かりやすく発信することができるように努力して参りたいと考えております。まだまだ未熟者ではありますが、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

手当と児童手当の間で議論が起こるだけでなく、待機児童対策などの保育サービスの充実に向けて動き出しています。充実した家族政策を展開してきたフランスから日本が学べることはいくつもあると感じています。

政治学の視点から雇用や社会保障の問題に取り組むことは、解決策だけでなく政治的合意の方法も考えることだと思っています。こうしたことは、日本全体のみならず、道東でも必要になります。現在、専門演習ではテーマのひとつとして小児在宅医療を取り上げています。障がいのある子どもが自宅で生活していくための資源は地方よりも都市のほうが充実しています。障がいのある子どもが釧路で生活できなければ家族全体で札幌などに転出してしてしまうでしょう。この状態は釧路で小児在宅医療の予算を付けなくてよいという結論も導き出しますが、本当にそれでいいのでしょうか。家族全体が転出するとなると、小児在宅医療だけの問題ではなく釧路の人口減少の問題にもつながってくるかもしれません。こうした道東ならではの課題に対する政治学からの応答も含めて、様々なことを学生の皆さんと一緒に探っていければと考えています。



釧路公立大学講師 曾我寛人

(担当科目：経営統計、統計解析ほか)

今年度より本学に着任しました曾我寛人と申します。私は昨年まで横浜市と鎌倉市にまたがる集合住宅に住んでおりました。中学・高校は隣町まで、そして、大学学部・大学院は都内まで電車で通っておりました。釧路に来てからは電車を使わない生活となり、通勤時の満員電車から解放され、ほっとしております。また、昨年まで通っておりました明治大学のキャンパスには17階建てや23階建ての建物があり縦に高いキャンパスでしたので、釧路公立大学の横に広いキャンパスにはとまどいと新鮮さを感じております。

私は国際ビジネスを専門としており、特に、企業の海外進出についての研究を行っております。企業が海外で事業を始める際には、国内でのビジネスと違って、進出する国と本国との間の文化、制度、地理、経済の違いを踏まえ、海外進出戦略を策定することが求められるのです。私はこの戦略策定について統計的な分析手法を用いた研究を行っております。

具体的には、アンケート調査から得た企業のデータを使った分析によって、企業が海外進出する要因や海外進出戦略を策定するプロセスなどを解明することに取り組んでおります。

私の講義においては、これまでの研究成果を事例として取り上げ、統計の基礎知識から重回帰分析や因子分析などの統計解析の手法までを説明していきます。そのためには数式の意味や役割を1つ1つおさえることが重要となり、それにより統計や解析の理解が深まることにつながります。したがって、私の講義においては、数式の意味を分かりやすく説明し、学生の理解を深めさせていきたいと思っております。また、パソコンのソフトウェアを使った分析方法などについても適宜説明をしていきます。

これから、学生とともに経営学の世界を統計的な解析手法を使って探求していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

## 釧路公立大学開学30周年記念事業

釧路公立大学は、釧路管内市町村の強い思いによって昭和63年に設立され、今年開学30周年を迎えました。「地域に結びつき開かれた大学」「国際性を重視する大学」「理論と実践の相まった大学」の建学の理念のもと、7,500名を超える有為な人材を輩出してきた伝統を受け継ぎ、これからも地域とともに歩み、地域に愛される大学を目指していきます。

### 記念講演 (受講無料)

日時 平成29年10月7日(土) 午後3時10分～4時10分  
会場 釧路公立大学 大講義室1  
演題 公立大学の現状と課題  
講師 一般社団法人 公立大学協会 事務局長 中田 晃氏



### 記念公開講座 (受講無料)

共通テーマ 「歴史と文化の地平を拓く」  
※詳しくは7ページをご覧ください。

申込方法 記念講演・公開講座いずれも事前申込は不要です。  
会場に直接お越しください。

問合せ先 釧路公立大学事務局総務課  
(TEL 0154-37-3211)



# 卒|業|予|定|者|の|内|定|状|況

(2017/9/19現在)

- 農林漁鉱業** 百商屋
- 建設業** 一条工務店、大場上下水道設計、北弘電社、三建設備工業、タクトホーム、竹中工務店、つうけん、東急リパブル、北海電気工事、ミサワホーム北海道、陸中建設
- 製造業** 上田商会、北一硝子、北葉楼、きのとや、三和シャッター工業、JBCケンウッド、総合商研、武田薬品工業、東洋印刷、凸版印刷、日東エフシー、日本高压コンクリート、東日本フード、ホクレンくみあい飼料、北海道糖業ルアン、よつ葉乳業
- 卸売・小売業** 岩手トヨタ自動車、岩手トヨペット、帯広地方卸売市場、キャン、釧路トヨタ自動車、クワザワ、国分北海道、サッポロドラッグストア、札幌丸井三越、サンデー、スズキ自販北海道、ダイイチ、ツルハホールディングス、DCMホームック、東急百貨店、東テク北海道、道北アークス、トヨタカローラ札幌、ナラサキ産業、ニトリ、ネクステージ、ハスコモバイル、ハミュレ、林塗料、福原、藤栄、二葉屋、ホームックニコット、ほくやく、北海道コカ・コーラボトリング、北海道ジェイ・アール商事、北海道歯科産業、マックスパリュ北海道、森永乳業北海道、モロオ、薬王堂、リリアブル、ローソン
- 金融・保険業** 旭川信用金庫、遠軽信用金庫、北日本銀行、きらやか銀行、釧路信用金庫、三井住友海上火災、荘内銀行、損害保険ジャパン日本興亜、大地みらい信用金庫、栃木銀行、栃木県信用保証協会、苫小牧信用金庫、日専連釧路、日本生命保険、野村證券、北星信用金庫、北都銀行、北洋銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、杜の都信用金庫、ゆうちょ銀行
- 運輸・情報通信** アイエックス・ナレッジ、アイティ・コミュニケーションズ、アシスト北海道、アドヴァンスト

- ソフト・エンジニアリング、インターパーク、エクストリンク、NECソリューションイノベータ、栗林商会、呉電子計算センター、ケイケンシステム、コネクシオ、ジフアム、ジャパンテクニカルソフトウェア、ティー・エス・シー、道新サービスセンター、日本アイビーエム・ソリューション・サービス、日本情報産業、東日本旅客鉄道、ホープス、北海運輸、北海道中央バス、北海道旅客鉄道、三ッ輪運輸、ヤマハモーターソリューション、USEN
- 電力・ガス** エネサンス北海道、ほくでんサービス
- 不動産業** エイブル、セクスイハイム東北、積和不動産東北、タイセーハウジング、大和リビングマネジメント、TonTon、プライムハウス、レオパレス21、三井不動産リアルティ札幌
- サービス** アレフ、ANA新千歳空港、えんゆう農業協同組合、オービィ、釧路商工会議所、合田観光商事、国立病院機構、札幌臨床検査センター、JIEC、斜里町農業協同組合、ジュリアンヌ、ディー・エム広告社、進学会、全日警、創和プロジェクト、大学生協同組合連合会北海道事業連合、豊頃町農業協同組合、トリドールホールディングス、ネクシィーズグループ、フォーシーズ、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農業共済組合連合会、ヤマチユナイテッドグループ、吉岡経営センター、ラウンドワン、ルートインジャパン
- 国家公務** 皇宮護衛官、国家一般職（検察庁）、陸上自衛隊（一般幹部候補生）
- 地方公務** 青森県警察、秋田市役所、上士幌町役場、北見市役所、釧路市役所、警視庁、札幌市消防局、北海道警察、北海道庁（一般行政）、北海道庁（警察行政）

# キ|ャ|リ|ア|セ|ン|タ|ー|だ|よ|り

## 「釧路公立大学キャリアセンター」

キャリアセンターは学生が気軽に利用できる施設として、申請書類の受け渡し、セミナーの申し込みの他、就職や進学、部活やアルバイトなど大学生生活全般の相談で、多くの学生にご利用いただいています。

本学の学生は就職先（民間企業、団体、自治体、官公庁など）から高い評価を得ていますが、その理由の一つに卒業生の活躍があります。今年開学30周年を迎え、国内外で活躍している卒業生たちが、真面目に、柔軟に、遊ぶときは遊び、在学時と同様の特徴を発揮して今まで働き続け積み重ねて出来た伝統が、企業などに理解され、浸透して今の高評価に繋がっていると思います。

メディアにも頻出している学内カフェは、経済・経営の実践の場として大学が設置し、運営面は全て学生が担っています。メニュー、価格、仕入れ先の決定、予算管理、制服のデザインや店名も学生達が決め、食品衛生責任者を置き、責任を持って運営しています。自主的に判断、行動する経験を得た学生達もまた高く評価していただき、民間企業の企画総合職などの進路に就いています。キャリアセンターは学内カフェの運営サポートや学外活動時のアドバイスも行っています。

本学は今後も学生の成長をサポートし続け、卒業後それぞれのフィールドで活躍できる人材を育成していきます。学生の経験値を高めるためには地域住民や企業、団体の方々のご協力が不可欠となります。これからもご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 後期に実施する就職対策事業

9月	MOS講座・検定 公務員受験対策講座（夏期集中）
10月	自己分析講座 企業訪問報告会 求職票配付（学生課に全員が提出） TOEIC IP試験 SPI対策テスト 業界研究講座 企業研究講座 社会人の体験談を聞こう
11月	一般常識対策模擬試験 内定者パネルディスカッション 公務員フラッシュアップ講座 履歴書対策講座・添削 秘書検定試験 就活マナー講座 就活メイク講座（女子学生対象） エントリーシート攻略講座・添削 金融実務講座
12月	グループディスカッション対策講座 模擬グループディスカッション 面接対策講座 公務員試験合格者パネルディスカッション 採用担当者パネルディスカッション 模擬面接（集団） 内定者伝授会
1月	模擬面接（個人）
2月	就活直前対策講座 サテライト活用講座 公務員試験対策講座（春期集中） 公務員試験説明会（学内） 業界研究会 公務員模擬試験（共通型） 公務員模擬試験（警察官・消防型） 合同企業説明会攻略講座
3月	公務員模擬試験（国税専門官型） 公務員模擬試験（国家一般型）

## 軟式野球部

部長 経済学科3年 新山 大

こんにちは！軟式野球部です。私たち軟式野球部は町内の大会に出場することを中心として活動しています。現在、この学内には硬式野球部と準硬式野球部、そして私たち軟式野球部と3つの野球部が存在していますが、その中で前者2つと大きく違う点は「初心者歓迎！」であるところです。野球部、それも大学ともなるとどうしても経験の差が出てしまいますが、私たちのサークルは「楽しく野球をする」ことがモットーです。そのため全くの初心者から中学校でやめてしまった人、また、高校まで野球をしていたものの大学ではゆるゆるとプレーしたい人など様々なレベルの部員が約30名在籍しています。練習日程は多くても週2日程度ですが、「練習」というよりは「遊び」感覚で野球をするため練習中もとても雰囲気がよく、部員それぞれ意欲的に取り組んでいます。

続いて2017年度の活動成績を紹介します。元々勝つことが第一目標ではないサークルだったのですが、今年はなんと高松宮賜杯全日本軟式野球（1部）北・北海道大会に出場することができました。今年の春に2部から1部に昇格した私たちですが、2部でも成しえなかった大きな大会での地区優勝を、昇格していきな

り果たしてしまったことに正直部長である私も驚いています。あまり伝わらないかもしれませんが、とにかく驚きです。また、初の道大会出場ということでルールや手続き、道具やユニフォームの統一など今まで以上に厳しい規定があり、戸惑う場面も多々見られましたが、レベルの高い大会で試合をすることができ、肉体的にも精神的にもまた1つ成長できたのではないかと思います。

私たち軟式野球部は決して上手な人を求めているわけではありません。レベルの高い野球がしたい人は硬式や準硬式に入ることをおすすめします。私たちが求めているのはたとえ下手であっても「野球が好きだ！」という熱意を持った人です。このことを忘れず、もっともっと野球が好きになるようなサークルを目指してこれからも活動していきたいと思っています。



## 女子アイスホッケー部

部長 経済学科3年 若山 理紗

こんにちは、女子アイスホッケー部です。私たちは部員21名で、公式戦の勝利を目標に活動しています。釧路といえばアイスホッケーが有名ですが、部員は全員大学から始めた初心者です。スケートを大学に入学するまでやったことがなかった部員、今まで体育会系の部活に入ったことがなかった部員もいます。そして、防具や道具はなかなか新しいものやいいものを使えなかったり、リンクまで行く手段の車が足りていなかったりと現状は厳しいところもあります。参加費のかかる試合や遠征も多く、費用がかかるため、バイトをしている部員がほとんどです。ここだけを見みると「なんでアイスホッケー部に入っているの？」と思うかもしれません。

どうしてみんな入ったのかというと、部活の雰囲気やアイスホッケーが好きになったという理由が多いと思います。ほとんどの部員は「春に行われた新歓試合で先輩を見てかっこいいと思って入部した」人が多いです。私もそこで初めてアイスホッケーというスポーツを間近で見て衝撃を受けました。自分自身もやっていくうちにアイスホッケーの魅力にはまっていきました。

た。そして部員は全員初心者と先ほど述べましたが、練習はみんな上達したいので真剣にやっており、最近はどうも新入生がうまくなっていくのを見て成長しているなあと感じています。ほかにも部員が21名と多いにもかかわらず、選手・マネージャー・学年関係なく部員全員仲がいいことは自慢だと思います。この部員同士で話しやすい環境は試合中にも学年関係無く意見が言いやすいので、お互い成長できるととてもいい環境だと感じています。

初心者が多いので公式戦や練習試合では負けることが多くあります。まだまだ課題が多く技術不足な面もありますが、部員一同、精一杯努力をし、今年のシーズンはひとつでも多くこのチームで勝利を手にしたしたいと思います。



# 公開講座のご案内

## 平成29年度釧路公立大学公開講座

### 共通テーマ「歴史と文化の地平を拓く」

#### ■高嶋 弘志 教授

講演テーマ 箱館戦争と釧路・厚岸

－榎本軍が道東にやってきた－

概要 箱館戦争の舞台は箱館あるいは道南に限定されがちであるが、釧路や厚岸にまで及んでいたことはほとんど知られていない。榎本武揚が率いる旧幕府軍は新政府の勢力を追放し、全島の制圧をはかって軍事行動を展開した。特に室蘭に置かれた開拓奉行は東蝦夷地に兵士を派遣し、釧路や厚岸に榎本艦隊の長鯨丸を送って米や金銭を略奪していた。各場所に留まっていた新政府側の役人や商人の動向を通して、道東から見た箱館戦争を考えてみたい。

#### ■萩原 充 教授

講演テーマ 資源からみた日中関係史

－鉄をめぐる争奪が日中戦争を招いた－

概要 今日、日中間に様々な問題が起こっているが、その大半は交流に伴って発生するトラブルであり、相手国に対する理解が深まれば、解消されるものである。しかし、領土問題はやっかいである。国の防衛や資源確保に関わるだけに互いに譲れず、戦争に発展する危険さえ孕んでいるからである。実は、先の日中戦争もまた資源をめぐる戦争であった。それはどういう意味なのか？ 歴史を辿ることにより、開戦の要因に迫ってみよう。

#### ■神野 照敏 教授

講演テーマ 都市を考える

－歩くことから見えてきたこれからの都市のかたち－

概要 古今東西、人間にとって都市とは自由な空間、文化を創出する空間でした。ですが、21世紀の現在、「空き家問題」に見られるように、都市はスプロール化、スポンジ化によって衰退の一途を辿っています。ここ釧路もその例外ではないどころか、むしろ「課題先進都市」です。この講座ではこれからの都市のあり方を皆さんと一緒に考えていきます。

#### ■藤田 祐 准教授

講演テーマ ロック・ミュージックとアイルランド近現代史

概要 アメリカの黒人音楽をルーツとするロック・ミュージックが発展したイギリスでは、ビートルズの主要メンバーを初めとして、音楽業界で数多くのアイルランド系の人々が活躍してきました。また、U2など、アイルランド出身のミュージシャンも活躍しています。本講座では、ロック音楽を糸口にして、アイルランドの歴史を紐解いていきたいと考えています。特に、1801年の合同、20世紀初めの分断、戦後の北アイルランド問題など、イギリスとの関係を軸にアイルランド近現代史について学びます。

#### ■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	10月4日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	萩原 充 教授
演題	資源からみた日中関係史 －鉄をめぐる争奪が日中戦争を招いた－

#### ■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月11日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	高嶋 弘志 教授
演題	箱館戦争と釧路・厚岸 －榎本軍が道東にやってきた－

#### ■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月18日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	藤田 祐 准教授
演題	ロック・ミュージックとアイルランド近現代史

#### ■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月19日(木) 18:30~21:00
場所	本の森 厚岸情報館 視聴覚室
講師1	高嶋 弘志 教授
演題1	箱館戦争と釧路・厚岸 －榎本軍が道東にやってきた－
講師2	藤田 祐 准教授
演題2	ロック・ミュージックとアイルランド近現代史

#### ■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月25日(水) 18:30~20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	神野 照敏 教授
演題	都市を考える －歩くことから見えてきたこれからの都市のかたち－

#### ■釧路公立大学公開講座 6回目

日時	10月27日(金) 18:30~21:00
場所	音別町コミュニティセンター 研修室
講師1	萩原 充 教授
演題1	資源からみた日中関係史 －鉄をめぐる争奪が日中戦争を招いた－
講師2	神野 照敏 教授
演題2	都市を考える －歩くことから見えてきたこれからの都市のかたち－

- ・釧路会場：釧路公立大学 2階202教室  
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・厚岸町会場：本の森 厚岸情報館 視聴覚室  
厚岸郡厚岸町宮園1丁目1番地
- ・音別町会場：音別町コミュニティセンター 研修室  
釧路市音別町中園1丁目78番地
- ・受講無料
- ・対象 高校生以上
- ・受講方法 お申込みの必要はありません。
- ・お問い合わせ 釧路公立大学 総務課

## 活躍する教員



本学で活躍されている教員の著書をご紹介します。

『自信過剰な私たち』

自分を知るための哲学

中村 隆文 准教授 著

(ナカニシヤ出版) 2017年9月

もし今あなたが自信を失っているとして、そもその自信が高望み的な期待を反映していたり、自信過剰気味であったとするならば、それこそがあなたを苛み、苦悩させ、罪悪感を植え付けたり、あるいは自分を評価しない周囲への不満を生み出しているのではないだろうか。哲学することで失敗や偏見の傾向性を知り、そして自らの限界を見定めれば、現実の自分自身をきちんと理解でき、「なすべきこと」が見えてくるかもしれない。

## K.P.U. フェスタ2017

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長  
経済学科3年 國塚 一希

公立大生、並びに保護者の皆様、こんにちは。  
K.P.U.フェスタ実行委員会の國塚です。

今年も釧路公立大学祭の時期がやって参りました。  
地域の皆様、ご協力頂いた企業様、教員及び学生の  
皆様のおかげで当大学祭も16回目を迎えることが出  
来ました。日頃の応援、ご協力有難うございます。

今年度のテーマは「JUKE BOX～食欲の秋、芸術の秋、祭りの秋!!～」となっております。このテーマにある「JUKE BOX」とは、たくさんの音楽を内蔵し好きな曲を楽しめるものです。これを当祭りに置き換え、「この祭りの中にたくさんの楽しさや面白さを詰め込んでいる」ということを表現しております。学内外、地域の方々に思う存分楽しんで頂きたいと考え、このテーマに決定致しました。

今年度は開学30周年ということもあり、お呼びした芸人さん、企画の内容や景品も例年に比べてより一層豪華になっております。また、私達運営のみならず、参加するサークルや団体も様々な趣向を凝らした露店や企画をご用意しております。

開学30周年を飾る大学祭が開催されるこの機会に是非、釧路公立大学まで足をお運びくださいませ。

### ◎大学祭 (K.P.U.フェスタ) の開催時刻

前夜祭 10月6日(金) 17:30～20:00    本祭 10月7日(土) 10:00～20:00    10月8日(日) 10:00～20:00  
※一般公開日は、10月7日(土)・8日(日)となります。

### ◎平成29年度後期授業料の納付について

後期授業料は10月31日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

### 編集後記

今夏8月の末に本学で実施された、とある研究会の事務局作業を行った。参加者自体は30名にも満たない研究会ではあったが、登録者への告知、報告者の募集、討論や座長さんのお願い、論文や報告資料の受取、会場設営、懇親会の準備などで次々と難題が降りかかり、その都度対応に四苦八苦した。普段は事務方に支えてもらう立場であり、なんとなく大変な仕事だということのを頭では理解していたつもりであるが、所詮外野でみているのと実際にやってみるとでは大違い。改めて縁の下の力持ちに感謝を忘れてはいけないと実感した夏であった。

釧路公立大学だより 第56号  
平成29年10月1日発行

◎発行元  
釧路公立大学  
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号  
TEL 0154-37-3211(代)  
FAX 0154-37-3287  
学生課: TEL 0154-37-5091  
URL: <http://www.kushiro-pu.ac.jp/>  
◎発行日  
毎年2回(4月1日、10月1日)

